

# 評価規準

# 江戸川区立本一色小学校

## 教科：音楽 学年：第5学年

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
<導入> 「夢色シンフォニー」 (随時扱い)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。
	(2) 音色、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色、旋律、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
	(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
<スキルアップ> 「花のおくりもの」 (毎時扱い)	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりについて理解している。 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けている。
	(2) 音色、フレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音色、フレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
	(3) 歌声を合わせて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌声を合わせて表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
<スキルアップ> 「クラップ フレンドズ」	(1) 曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、拍に合	知識・技能	曲想と強弱など音楽の構造との関わりについて理解している。

(毎時扱い)	わせ全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付ける。		思いや意図に合った表現をするために必要な、拍に合わせ全体の響きを聴いて演奏する技能を身に付けている。
	(2) リズムや強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	リズムや強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
	(3) 強弱を意識して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、手拍子によるリズムアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	強弱を意識して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「こいのぼり」(共通教材) (2時間扱い・4月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。
	(2) 旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律、リズム、強弱などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
	(3) 歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
1 和音や低音のはたらき (4時間扱い・4～5月)	(1) 曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。 思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けてい

			る。
	(2) 音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
	(3) 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱いやす めやす 数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価 規準例
2	ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けるとともに、和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しむ。	茶色の小びん 和音のはたらきを感じ取ろう	○「茶色の小びん」の主旋律と低音を合わせて演奏する。 ○ハ長調の音階、和音について知り、「茶色の小びん」を和音を感じながら演奏する。	【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。 【主-①】 和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2	曲想と音の重なりや和音の響きとの関わりについて理解するとともに、音の重なりや和音の響きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	こきょうの人々	○「こきょうの人々」を旋律と和音、旋律と低音、旋律と和音と低音、それぞれの組み合わせで演奏して比べ、気付いたことを話し合う。 ○「こきょうの人々」を、グループで演奏の工夫をする。	【知-①】 「こきょうの人々」の曲想と、音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「こきょうの人々」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
〈音のスケッチ〉 和音に合わせてせんりつをつくろう	(1) 和音と旋律の関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや	知識・技能	和音と旋律との関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。

(2 時間扱い・6 月)	意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。		思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。
	(2) 旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。
	(3) 和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、ハ長調の主要三和音に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
2 アンサンブルのみりよく(合唱) (6 時間扱い・6～7 月)	(1) 曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。
	(2) 音の重なりや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	音の重なりや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりしている。
(3)	主体的に学習に取り組む態度	いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	

の扱いやす時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
---------	-----	----------------------	---------	---------------

2	<p>いろいろな形態の合唱に興味をもつとともに、音の重なりなどが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴く。</p>	◎いろいろな合唱	<p>○声の種類や合唱形態について知るとともに、女声合唱と男声合唱を比較して聴き、気付いたことを交流する。</p> <p>○女声合唱、男声合唱、児童合唱、混声合唱ごとに、気付いたことや魅力についてまとめる。</p>	<p>【主-①】 いろいろな形態の合唱の響きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【思-①】 音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴いている。</p>
4	<p>音楽の縦と横との関係などを聴き取り、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するとともに、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しむ。</p>	ハロー・シャイニング ブルー	<p>○「ハロー・シャイニング ブルー」の特徴を捉え、全員でイメージを共有して上声部を歌う。</p> <p>○下声部を捉え二部合唱し、声部の関わり合いや全体の響きを確認する。</p> <p>○曲の仕組みや特徴について、意見を出し合ったり確認したりして歌う。</p> <p>○「こう歌いたい」という内容を出しあって、更に工夫し、思いや意図を大切に二部合唱する。</p>	<p>【主-②】 自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。</p> <p>【思-②】 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「ハロー・シャイニング ブルー」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【知-①】 「ハロー・シャイニング ブルー」の曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。</p>

<p>&lt;コーナー名&gt; (扱い時数・扱い月のめやす)</p>	<p>目標</p>	<p>学習活動に即した評価規準例</p>	
<p>&lt;めざせ 楽器名人&gt; 「星笛」  (毎時扱い・6～7月)</p>	<p>(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色やフレーズ、拍、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>知識・技能</p>	<p>曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。</p> <p>思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。</p>
		<p>思考・判断・表現</p>	<p>音色やフレーズ、拍、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ</p>

			ている。
	(3) 声部のかけ合いや重なりを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーアンサンブルに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	声部のかけ合いや重なりを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

<b>&lt;コーナー名&gt;</b> <small>(扱い時数・扱い月のめやす)</small>	<b>目標</b>	<b>学習活動に即した評価規準例</b>	
3 アンサンブルのみよく(オーケストラ)  (3 時間扱い・9月)	(1) 曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解する。 (2) 音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	知識 思考・ 判断・ 表現	曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。  音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。
3 アンサンブルのみよく(オーケストラ)  (3 時間扱い・9月)	(3) 楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの音楽に親しむ。		主体的に学習に取り組む態度
	(1) 曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。

の扱 めい やす 時 数	ねらい	教材(◎鑑賞教材 ☆ 音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規 準例
3	音色、音の重なり、 旋律、反復、変化な どを聴き取り、それ らのよさや美しさ、 面白さを感じ取りな がら、曲全体を味わ って聴き、オーケス トラの音楽に親し む。	◎組曲「カレリア」か ら「行進曲風に」	○オーケストラの楽器の名前 や、楽器群について知り、組曲 「カレリア」から「行進曲風に」 を、オーケストラの響きを楽しん で聴く。 ○旋律の反復と変化に気付き、 楽器群の音色を捉えて聴く。 ○曲の構造や旋律を演奏する 主な楽器の変化を捉え、曲全 体を聴く。	【主-①】 楽器群の響きや作品 の背景に興味をもち、音楽活動 を楽しみながら、主体的・協働 的に学習活動に取り組もうとし ている。 【知-①】 「行進曲風に」の曲想 と、楽器群の響きなど音楽の構 造との関わりについて理解して いる。 【思-①】 「行進曲風に」の音 色、音の重なり、旋律、反復、変 化などを聴き取り、それらのよ さや美しさ、面白さを感じ取り ながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりにつ いて考え、曲や演奏のよさを見 だし、曲全体を味わって聴い ている。

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月の めやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「赤とんぼ」 (1時間扱い・9月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、 曲想と歌詞の内容との関わりについて理解 するとともに、思いや意図に合った表現をす るために必要な、呼吸及び発音に気を付け て、自然で無理のない、響きのある歌い方 で歌う技能を身に付ける。	知識・ 技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わり、 曲想と歌詞の内容との関わりについて理 解している。
			思いや意図に合った表現をするために 必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自 然で無理のない、響きのある歌い方で歌 う技能を身に付けている。
	(2) 旋律、強弱などを聴き取り、その働きが 生み出すよさを感じ取りながら、聴き取っ たことと感じ取ったこととの関わりにつ いて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、ど のように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・ 判断・ 表現	旋律、強弱などを聴き取り、その働きが 生み出すよさを感じ取りながら、聴き取っ たことと感じ取ったこととの関わりにつ いて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、ど のように歌うかについて思いや意 図をもっている。
(3) 言葉の抑揚や曲の特徴を生かして表現 することに興味をもち、音楽活動を楽しみ ながら、主体的・協働的に学習活動に取 り組み、日本の歌曲に親しむ。	主体的 に学習 に取 り組 む態 度	言葉の抑揚や曲の特徴を生かして表現 することに興味をもち、音楽活動を楽し みながら、主体的・協働的に学習活動に 取り組もうとしている。	

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
4 パートの役わり  (2時間扱い・10～11月)	(1) 曲想と拍など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。
	(2) 拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
	(3) 曲の特徴にふさわしい表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、フォルクローレの音楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴にふさわしい表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱いやす 時数	ねらい	教材(◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2	曲想と、音楽の構造との関わりについて理解するとともに、拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	風とケーナのロマンス	○「風とケーナのロマンス」の曲想や特徴を捉えながら、各声部をリコーダーで演奏する。 ○グループごとに演奏の工夫をする。 ○発表して意見を交流する。	【知-①】「風とケーナのロマンス」の曲想と、拍など音楽の構造との関わりについて理解している。 【主-①】「風とケーナのロマンス」の特徴にふさわしい表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。 【思-①】「風とケーナのロマンス」の拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
5 日本の音楽  (4時間扱い・11～12月)	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。  思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。
	(2) 旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりする。	思考・判断・表現	旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりしている。
	(3) 我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、多様な音楽やその表現に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	我が国に伝わる音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
2+ α	曲想と、旋律などとの関わりについて理解するとともに、我が国の音楽の旋律や音色、拍などが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏のよさを見いだして聴く。	◆子もり歌(共通教材) ◎会津磐梯山 ◎音戸の舟歌  (日本の民ようをたずねて)	○日本の子もり歌の節回しや旋律の特徴を生かし、表情豊かに歌う。 ○民謡を歌う声の出し方や節回し、拍に注目して、「会津磐梯山」と「音戸の舟歌」、身の回りの声の表現を聴く。  ○日本の民謡を、声の出し方や節回しの面白さなど、よさや特徴を感じ取りながら聴く。	【知-①】「子もり歌」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。 【思-①】 我が国の音楽の旋律や音色、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏のよさを見いだして聴いている。 【主-①】 我が国に伝わる音楽の特徴や、それらと人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2+ α	呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けるとともに、我が国の音楽の旋律や音色、音の重なりなどが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴にふさわ	こきりこ節  (谷茶前)	○「こきりこ節」を、声の出し方や旋律の動き、呼吸や発音に気を付けて歌う。 ○「こきりこ節」を楽器の伴奏を加えて歌う。  ○「谷茶前」の演奏を聴き、曲想に合った表現の仕方を工夫して	【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。 【思-②】 「こきりこ節」の旋律や音色、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこ

	しい表現を工夫する。		歌ったり、沖縄の音階やリズムの特徴を生かした音楽をつくったりする。	とと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【知-②】 沖縄県民謡の曲想と、旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。
--	------------	--	-----------------------------------	---

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
6 豊かな表現 (4 時間扱い・11～12月)	(1) 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。	知識・技能	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。
	(2) 旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
	(3) 曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱曲や日本のうたに親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱い時数	ねらい	教材(◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
4	曲想と、音楽の構造との関わりについて理解するとともに、拍やフレーズ、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらのよさなどを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。	地球の向こう側の君へ ◆冬げしき(共通教材)	○「地球の向こう側の君へ」の曲想を感じ取ったり、曲の特徴を理解したりする。 ○「地球の向こう側の君へ」の曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて考えをもつ。 ○「地球の向こう側の君へ」の曲想に合った歌い方を身に付ける。 ○「冬げしき」の曲想を感じ取ったり、曲の特徴を理解したりする。 ○「冬げしき」の曲にふさわしい歌い方や声の出し方を考え、自然で無理のない、響きのある歌い方を身に付ける。	【主-①】 二つの歌の曲想や音楽の特徴の違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【思-①】 旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴や歌詞にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【主-②】 曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。

				<p>【思-②】 旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴や歌詞にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【知-①】 曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。</p>
--	--	--	--	--

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例	
<音のスケッチ> いろいろな声で音楽をつくろう (2 時間扱い・12月)	(1) 多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。	知識・技能	多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。
	(2) 音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。	思考・判断・表現	音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。
	(3) 詩をもとにしていろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽に対する感性を育む。	主体的に学習に取り組む態度	詩をもとにしていろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みようとしている。

<コーナー名> (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	学習活動に即した評価規準例
---------------------------	----	---------------

くrippんのうた みんなのうた) 「スキーの歌」(共 通教材)  (2 時間扱い・1 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付ける。	知識・ 技能	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。  思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付けている。
	(2) 旋律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	思考・ 判断・ 表現	旋律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
	(3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	主体的 に学習 に取り組む 態度	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

題材名 (扱い時数・扱い月の めやす)	目標	題材の評価規準例	
7 音楽のききどころ  (3 時間扱い・1～2 月)	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。
	(2) 旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	思考・ 判断・ 表現	旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。
	(3) 曲の特徴を見だしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	主体的 に学習 に取り組む 態度	曲の特徴を見だしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱 めい やす 時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規 準例
----------------------	-----	----------------------	---------	-------------------

3	曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解するとともに、旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、曲全体を味わって聴く。	◎つるぎのまい	<p>○「つるぎのまい」を、曲の特徴に気を付けながら全体を通して聴く。</p> <p>○曲想とその変化などの特徴や、音楽を形づくっている要素の関わり合いを体の動きで表わし、曲の面白さや特徴を理解する。</p> <p>○曲全体の特徴や演奏のよさを味わって聴き、曲のよさや面白さについてまとめる。</p>	<p>【主-①】「つるぎのまい」の曲の特徴を見いだしながら聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【知-①】「つるぎのまい」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>【思-①】「つるぎのまい」の旋律、反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p>
---	---	---------	--	--

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	目標	題材の評価規準例	
8 思いをこめた表現 選択 A 器楽 (3 時間扱い・2~3 月)	(1) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	知識・技能	<p>曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。</p>
	(2) 音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	思考・判断・表現	音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
	(3) 音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1 年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

の扱い時数	ねらい	教材 (◎鑑賞教材 ☆音楽づくり)	○主な学習内容	学習活動に即した評価規準例
3	音楽の縦と横との関係などが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、曲の	ルパン三世のテーマ	○「ルパン三世のテーマ」の曲想を捉え、それぞれのパートを分担し、自分の担当するパートの役割や特徴について考え	<p>【知-①】「ルパン三世のテーマ」の曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>【主-①】「ルパン三世のテーマ」を</p>



<p>現を工夫するとともに、1年間の学習を生かして音楽活動を楽しむ。</p>		<p>○合唱を仕上げ、学習活動を振り返る。</p>	<p>せて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>【技-①】 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。</p> <p>【思-①】 「君をのせて」の、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、「君をのせて」の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>
--	--	---------------------------	--

<b>コーナー名</b> <small>(扱い時数・扱い月のめやす)</small>	<b>目標</b>	<b>学習活動に即した評価規準例</b>	
<p>〈音のスケッチ〉            ずれの音楽を楽しもう            (2時間扱い・3月)</p>	<p>(1) 反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、インターロッキングの音楽に親しむ。</p>	<p>知識・技能</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。</p> <p>思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。</p> <p>リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p>リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>

<b>コーナー名</b> <small>(扱い時数・扱い月のめやす)</small>	<b>目標</b>	<b>学習活動に即した評価規準例</b>	
<p>〈変奏曲を楽しもう〉            ピアノ五重そう曲「ます」第4楽章から            (3時間扱い・随)</p>	<p>(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。</p> <p>(2) 旋律、音楽の縦と横との関係、変化などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体を味わう</p>	<p>知識</p> <p>思考・判断・表現</p>	<p>曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>旋律、音楽の縦と横との関係、変化などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見だし、曲全体</p>

時)	て聴く。		を味わって聴いている。
	(3) 変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、室内楽に親しむ。	主体的に学習に取り組む態度	変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。